

令和 5年度	学校の教育目標	グローバルリーダー（Thinkglobally, act locally）の育成 ～未来に向かって高い志を持ち、人や社会と豊かに関わり、自己を磨き高め合う子どもの育成～
-----------	---------	---

# 中間評価

計画（5月1日）								中間評価（12月31日）																
資質・能力	学校の教育目標 実現に向けた 【重点目標】	重点目標に係る目指すべき 子どもの姿となる 【達成指標】	達成指標 達成率	評価	達成指標を達成する または近づくための 【重点的取組】	重点的取組に係る 具体的な 【取組指標】	担当者	取組指標の 達成基準 (S・A・B)	中間 評価	取組指標の 達成状況詳細	期末に向けた総括 (○成果 ▲課題 ☆方向性)													
知識・技能	生きて働く知識・技能の習得	(1) 前期「全国学力調査」、後期「CRT検査」の知識・技能の正答率が全国平均以上  S：達成率120%以上 A：達成率100%～119% B：達成率100%未満	[全国学力調査] 6年生 【国語】 全国 (正答率) 69.1% 本校 (正答率) 83.9% 達成率 $83.9/69.1 = 121\%$ 昨年度達成率=127%	S	①授業改善	指導教諭等は、新大分スタンダードの視点に基づいた評価表を使用して授業観察を行い、事後に授業者と振り返りを行う。	指導教諭	S：37回以上 A：18～36回 B：17回以下	A	指導教諭等による授業観察35回	○計画的に各担任の授業観察ができています。大分スタンダードの視点に基づいた評価の観点を通して各担任への指導助言ができた。 ☆各担任年間2回ずつの授業観察と、日常の授業を巡回参観を通して指導助言を効率的に行っていく。													
			[算数] 全国 (正答率) 67.4% 本校 (正答率) 82.1% 達成率 $82.1/67.4 = 121\%$ 昨年度達成率=124%									S	②体力向上	各学年は、「新体力テスト」で前年度課題のあった種目の改善に向けて、単元を開発する（既開発単元利用も含む）。	担任	S：7単元以上 A：6単元 B：5単元以下	A	単元開発 1年 (1) 2年 (1) 3年 (1) 4年 (1) 5年 (1) 6年 (1)	○各学年で1単元の開発をすることができた。また、昨年度開発単元の活用も行った。 ☆「新体力テスト」結果から見える本校児童の課題の改善へ向け取組を進める。					
			[CRT検査] 5年生 【国語】 全国比 (達成率) 111% 【算数】 全国比 (達成率) 114%	A	③自力通学	保護者は、児童の自力通学に対して励まし応援する。※「毎日」「時々」「全然」の内、「毎日」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：70～89% B：69%以下	A	回答 (368/528=70%) 毎日：313 (85.1%) 時々：49 (13.3%) 全然：6 (1.6%)										○「毎日」の割合が昨年度中間・期末に比べ増えている。多くの保護者の協力を得られている。 ▲自力通学できていない児童が若干名いる。 ☆引き続き啓発を続け、協力を呼びかけ続ける。				
			(2) 「新体力テスト」の合計得点が全国平均以上  S：達成率110%以上 A：達成率100%～109% B：達成率100%未満									A	④指導助言	教育委員会等関係者・大学教員は、授業に対して指導助言を行う。	指導教諭	S：50人以上 A：20～49人 B：20人未満	S	指導助言者計5人 県教委指導主事 延べ15人 大学教授等 延べ3人 学校評議員 延べ5人			○授業公開では県指導主事に、実習生代表授業、多様性についての授業や教科についても積極的に大学の教授等に指導助言を頂くことができた。 ☆今後も指導助言を頂ける授業公開を設定する。			
[新体力テスト合計点] 5年 全国：男52.60 女54.29 本校：男55.88 女56.70 男子達成率：55.88/52.60=106% 女子達成率：57.08/54.32=105%	S	⑤思考育成	学校は、思考ツール活用に関するアンケート（児童対象）を実施する。 ※肯定的回答80%以上を目指す。	指導教諭	S：肯定90%以上 A：肯定80～89% B：肯定79%以下	B	回答 (368/528=70%) よく：253 (68.7%) 時々：114 (31.0%) 全然：1 (0.3%)	本年度より学年末1回のアンケート実施																
(3) 前期「全国学力調査」、後期「CRT検査」の思考力・判断力・表現力等の正答率が全国平均以上  S：達成率120%以上 A：達成率100%～119% B：達成率100%未満									S	⑥一般教養	保護者は、世の中や学校のことについて、子どもの考えを聞く。※「よく」「時々」「全然」の内、「よく」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：70～89% B：69%以下	B	回答 (368/528=70%) よく：253 (68.7%) 時々：114 (31.0%) 全然：1 (0.3%)	○「よく」「時々」を合わせると99%であり、保護者の協力を得られた。 ☆引き続き啓発を続け、協力をよびかける。								
[全校学力調査] 4月実施 (6年生) 【国語】 全国 (正答率) 65.6% 本校 (正答率) 80.8% 達成率 $80.8/65.6 = 123\%$ 昨年度達成率=129%																	A	⑦外部連携	教育委員会・大学教員・地域の方は、外部講師として授業を支援する。	指導教諭		S：延べ19人以上 A：延べ7～18人 B：延べ6人以下 ※学級毎でカウント	S	大学教員9回、学生5回 延べ17人 教育委員会・市役所等8回 延べ11人 地域の方9回 延べ9人 法人・企業等48回 延べ108人
[CRT検査] 11月実施 (5年生) 【国語】 全国比 (達成率) 115% 【算数】 全国比 (達成率) 124%																					S			
ふるさとにグローバル貢献できる視点を持ち、世界や養	(4) 「笑顔アンケート」において、自己他者肯定群の児童の割合が80%以上  S：達成率110%以上 A：達成率90%～109% B：達成率90%未満	A	⑨学級経営	学級担任は、朝の時間に「褒め言葉のシャワー」と「フリートーク」を行う。※アセスアンケート90%以上達成を目指す (3年生以上で実施)。	指導教諭	S：90% A：80%～89% B：79%以下	A	アセスアンケート達成率 第1回 6月割合83% 第2回11月割合82%	○3年生、4年生では高い評価が見られた。 ▲学年が上がるにつれ、評価が下がる傾向が見られる。 ☆分析結果を校内で共有し、学級経営の充実、適切な生徒指導に繋げていく。															
学年：6月・11月 1年：96% 98% ↑ 2年：88% 83% ↑ 3年：84% 85% ↑ 4年：81% 77% ↓ 5年：82% 81% ↓ 6年：75% 74% ↓										S	⑩率先挨拶	保護者は、家庭内外で率先して挨拶を行う。※「毎日」「時々」「全然」の内、「毎日」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：80%～89% B：79%以下	S	回答 (368/528=70%) 毎日：336 (91.3%) 時々：31 (8.4%) 全然：1 (0.3%)	○保護者の協力を得られている。 ☆引き続き啓発を続け、協力をよびかける。							
働	(5) 年間有給取得10日以上の職員 (年間20日有給付与教職員対象) 70%以上  S：達成率110%以上 A：達成率80%～109% B：達成率80%未満	A	⑪学校公開	地域の方、大学関係者、保護者は、オープンスクールなど学校公開の機会に学校を参観する。	教務主任	S：700人以上 A：400～699人 B：399人以下	S	オープンスクール参加者概数 750人	○オープンスクールでは、1家庭における参加人数の制限をなくしたことにより、多くの方に参観してもらうことができた。 ▲入構時に参加者の確認が難しくなっている。参加者確認について見直しが必要。 ☆多くの参観者への公開と安全管理の両面を考えて開催していく。															
き										7日以上取得 9月末時点：23/26人=88.4% 達成率：88.4/70=126%	S	⑫意識改革	統括学年主任は、職員の更なる意識改革のため拡大会年会を開催する。	統括学年主任	S：2回以上 A：1回 B：未実施	A	1回開催 今年度中 (2月) に2回目を開催予定	○計画をもとに拡大会年会を開催できている。 ☆学年主任会においても、引き続き、学年部、栄養教諭、養護教諭の困りや意見を聞き意識改革を進める。						
方	12月末時点：25/26人=96.1% 達成率：96.1/70=137%	B	⑬登校指導	保護者は、PTA活動の一貫として登校指導を行う。※「実施済」「未実施」の内、「実施済」の割合	主幹教諭	S：90%以上 A：80%～90% B：80%未満	B	回答 (368/528=70%) 実施済：192 (52.2%) 未実施：176 (47.8%)	○計画をもとに、保護者の協力を得て、実施ができている。 ☆引き続き啓発を続け、協力をよびかける。															
改										96.1/70=137%	A	⑭外部意見	学校評議員は、年間3回開催の学校評議員会で働き方改革について意見を述べる。	主幹教諭	S：3回意見 A：2回意見 B：1回以下	A	・学校評議員会3回開催中、1回 第1回学校評議員会 (1) 第2回学校評議員会 (1) 第3回学校評議員会 (未)	○開催した2回とも、話題として触れることができた。 ☆実際に削減できた時間などを、具体的な資料を提示し、意見を聴取していく。						
革	96.1/70=137%	A	⑭外部意見	学校評議員は、年間3回開催の学校評議員会で働き方改革について意見を述べる。	主幹教諭	S：3回意見 A：2回意見 B：1回以下	A	・学校評議員会3回開催中、1回 第1回学校評議員会 (1) 第2回学校評議員会 (1) 第3回学校評議員会 (未)	○開催した2回とも、話題として触れることができた。 ☆実際に削減できた時間などを、具体的な資料を提示し、意見を聴取していく。															
の										96.1/70=137%	A	⑭外部意見	学校評議員は、年間3回開催の学校評議員会で働き方改革について意見を述べる。	主幹教諭	S：3回意見 A：2回意見 B：1回以下	A	・学校評議員会3回開催中、1回 第1回学校評議員会 (1) 第2回学校評議員会 (1) 第3回学校評議員会 (未)	○開催した2回とも、話題として触れることができた。 ☆実際に削減できた時間などを、具体的な資料を提示し、意見を聴取していく。						
推	96.1/70=137%	A	⑭外部意見	学校評議員は、年間3回開催の学校評議員会で働き方改革について意見を述べる。	主幹教諭	S：3回意見 A：2回意見 B：1回以下	A	・学校評議員会3回開催中、1回 第1回学校評議員会 (1) 第2回学校評議員会 (1) 第3回学校評議員会 (未)	○開催した2回とも、話題として触れることができた。 ☆実際に削減できた時間などを、具体的な資料を提示し、意見を聴取していく。															
進										96.1/70=137%	A	⑭外部意見	学校評議員は、年間3回開催の学校評議員会で働き方改革について意見を述べる。	主幹教諭	S：3回意見 A：2回意見 B：1回以下	A	・学校評議員会3回開催中、1回 第1回学校評議員会 (1) 第2回学校評議員会 (1) 第3回学校評議員会 (未)	○開催した2回とも、話題として触れることができた。 ☆実際に削減できた時間などを、具体的な資料を提示し、意見を聴取していく。						